

就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	TANOSHIKA PLUS	事業所番号	4012702439
住所	福岡県久留米市津福本町1587-11	管理者名	田中 俊光
電話番号	0942-27-5823	対象年度	令和7年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動場所:久留米市山本町耳納外 地内 ・実施日程:令和 7年5月~ ・実施した生産活動:施設外就労の概要 林道清掃(耳納線・合原線)維持管理業務委託 (主に側溝清掃や落ち葉や枝の清掃作業) ・利用者数:平均5~10名 	<p><活動の様子></p> 
<p><目的></p> <p>本事業は、市役所との連携のもと林道清掃(耳納線・合原線)維持管理業務を実施することで、地域インフラの維持に貢献するとともに、利用者が地域社会の一員として役割を担う経験を積む機会を創出し、社会参加意識および職業能力の向上を図ることを目的とした。</p>	
<p><成果></p> <p>本業務の実施により、耳納線・合原線の林道環境の保全および安全確保に寄与することができた。定期的な清掃活動を継続することで、落枝やごみの除去が適切に行われ、地域インフラの維持管理に一定の成果を上げることができた。また、利用者にとっては、屋外作業を通じて体力面・作業継続力の向上が見られ、役割分担のもとで責任を持って業務に取り組む姿勢が育まれた。加えて、市からの委託業務という社会的意義のある仕事に従事することで、地域の一員としての自覚や社会参加意識の向上が見られた。</p>	

連携先の企業等の意見または評価

年間を通して、草刈りや清掃作業が丁寧であり、安全管理にも十分に配慮されていた。そのため、当該林道の通行環境は良好に保たれ、安全に林道を利用することができていた。また、書類や写真の提出等事務手続きに関しても、迅速に対応されスムーズに処理していただいた。今後も、地域社会の安全を確保するとともに、障がい者就労支援の一環として、林道の清掃にご協力いただきたい。

連携先企業名	久留米市役所 農政部 農村森林整備課	担当者名	佐保 様
--------	--------------------	------	------

就労継続支援A型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	TANOSHIKA PLUS	事業所番号	4012702439
住所	福岡県久留米市津福本町1587-11	管理者名	田中 俊光
電話番号	0942-27-5823	対象年度	令和7年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<活動内容>

- ・日程 令和7年9月20日(土)13時～15時
- ・場所 TANOSHIKA PLUS
- ・講義テーマ
「働くとは何か／働きやすさを自分で作るには」
- ・講義者 合同会社 Dweild 代表 宮本孝之 氏
- ・参加者 職員3名 利用者11名

<目的>

この講義は「働くとは何か／働きやすさを自分で作るには」をテーマに、安定して働くための生活基盤(睡眠・食事・生活リズム)と、仕事の目的づけ(行く理由・目標)を整理する内容でした。
後半では「自分を知る」「周り(人・環境)を知る」ことが働きやすさの土台であり、合理的配慮は困りごとを言うだけではなく、困りごとを共有した上で、一緒に働く工夫やサポート方法を一緒に作る事だと説明されました。
最後に、スタッフに知ってほしいこと、サポートしてほしいことを紙にまとめ、今後の支援やステップアップの材料にする時間が取られました。

<支援員の感想>

今回の講義では、「働くとは何か」「自分の働きやすさを自分で作っていくこと」を軸に、生活リズムや仕事に向かう目的意識、相談することの大切さなど、就労の土台となる考え方を改めて整理する機会となりました。特に、合理的配慮を「困りごとを伝えること」ではなく、「一緒に働きやすい方法を考える材料」と捉える視点は、支援員としての関わり方を振り返る機会になったと感じました。
利用者さんが自分の調子や困りごとや目標を言語化する時間が設けられていたことで、普段の作業場面だけでは見えにくい思いや考えを知るきっかけにもなったと感じました。一方で、言葉にすることが難しい利用者もあり、支援員側が丁寧に受け止め、整理を手助けしていく必要性も感じました。

<活動の様子>



連携先の企業や事業所等の意見または評価

今回の講義では『働くことの目的とその準備』という視点を利用者様および職員の皆様と同じ視点を改めて醸成することで日々の支援や関わりの中にもどのように活用できるか、ということを中心としてお伝えさせていただきました。参加いただいた利用者の方々の皆様も主体的にワークにも取り組んでいただく中で職員とのコミュニケーションも増えていたと感じています。職員と利用者様それぞれが共通認識を持つことで今後の支援がより効果を生み出すキッカケとなればと考えています。

連携先企業(担当者)

合同会社 Dweild 代表 宮本孝之 氏

利用者からの意見・評価

- ・欠勤しないために睡眠と食事をきちんと取り、調子が悪い時には相談を行い、人に頼る事も大事。(Mさん)
- ・自分の事を知り、整理していく事が大事。まずは今の自分が何が出来るのかを整理していきたい。(Mさん)
- ・仕事に行く理由を持つ。今の自分に目を向け、気付きを大切にしたい。(Hさん)
- ・困り事があったら一人で悩まずに支援員に相談するようにする。(Nさん)
- ・仕事をしていく中でどうしても譲れない条件を考えた事がなかったので、それに気づくことが出来た。(Kさん)